

# 北海道雪氷ニューズレター

No.43 2012年11月30日発行

公益社団法人 日本雪氷学会 北海道支部

## 内 容

1. 北海道支部地域講演会のお知らせ
2. 「北海道の雪氷」第31号 発行のお知らせ
3. 防災フォーラム「平成24年岩見沢大雪」講演会のお知らせ

## 1. 北海道支部地域講演会のお知らせ

■日本雪氷学会北海道支部では、毎年、札幌以外の北海道各地において、「雪氷」に関する啓蒙活動を行うことを目的として「地域講演会」を開催しています。今年度は、北海道の鉄道を雪や氷から守るための科学や技術について、雪氷学的視点で、地域の方々に紹介する講演会を小樽市総合博物館本館で実施します。なお、講演会の他に、雪や氷に関係した工作、除雪車の写真や鉄道おもちゃの展示もあわせて行いますので、皆様のご参加をお待ちしています。

### ～鉄道を守る雪の研究～プログラム

#### (1) 講演

- 「現在の除雪車両」(岡本 光隆 氏、中村 哲也 氏：株式会社日本除雪機製作所)

当社は、札幌市手稲区の工場を拠点に、除雪機械・軌道モーターカー等の開発・設計・製造・販売までを一貫して行う自己完結型の製造メーカーです。冬期軌道用除雪車両にはラッセル・ロータリ・高性能排雪モーターカーなどがあり、今後はエコなハイブリッドモーターカーも技術的に可能となってきました。講演では、多種多様な除雪車両についてお話しします。

- 「鉄道と雪 -新幹線の雪対策」(鎌田 滋 氏：公益財団法人鉄道総合技術研究所)

JRの線路総延長約2万キロメートルのうち、主に日本海側地域に位置する8千キロメートル(線路総延長の約40%)が「豪雪地帯」に敷設されており、冬季間には様々な雪害を被っている。また、北陸新幹線、北海道新幹線など、豪雪地帯での開業が予定されている。講演では、鉄道における雪害の種類と対策についてお話しします。

◇日 時：2012年12月15日(土) 14時30分～16時30分

◇場 所：小樽市総合博物館本館 2階 研修室

※住所：小樽市手宮1丁目3番6号

※アクセス方法はこちら

<http://www.city.otaru.lg.jp/simin/sisetu/museum/access.html>

◇対象者：どなたでも参加可能

◇定 員：60名程度

◇参加料：無料

#### (2) 工作

- 「雪結晶が見える万華鏡をつくろう！」(荒川 逸人 氏：野外科学株式会社)

【概要】雪の結晶の多くは、中心から六つの方向に伸びた形の六角形となっており、このような模様が見える万華鏡の工作を行います。雪の結晶の万華鏡は、2枚の鏡をV字型に組み合わせ、筒の下部にビーズを入れて反射させることにより、雪の結晶に似た模様をつくり出すことができます。

◇日 時：2012年12月15日(土) 13時30分～14時10分

◇場 所：小樽市総合博物館本館 2階 実験室

◇対象者：小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)

◇定 員：24名(先着順)

◇参加料：無料

◇申 込：小樽市総合博物館本館まで（受付開始 12 月 1 日から）

電話：0134-33-2523

FAX：0134-33-2678

E-mail：[museum@city.otaru.lg.jp](mailto:museum@city.otaru.lg.jp)

### （3）展示

○「鉄道おもちゃで見る北の鉄道」

○「雪と戦う鉄道車両パネル展」

◇日 時：2012 年 12 月 12 日（水）～12 月 24 日（振休）9:30～17:00

ただし、12 月 18 日（火）は休館日

◇場 所：小樽市総合博物館本館 1 階エントランスホール

◆共 催：小樽市総合博物館

◆後 援：小樽市、NPO 法人北海道鉄道文化保存会

◆協 力：北海道旅客鉄道（株）

◆（1）～（3）の問合せ先：小樽市総合博物館 大鐘 卓哉

E-mail：[ohgane.otaru.museum@gmail.com](mailto:ohgane.otaru.museum@gmail.com)

Tel：0134-33-2523

## 2. 「北海道の雪氷」第 31 号 発刊のお知らせ

■2012 年度北海道支部研究発表会での発表論文を掲載した「北海道の雪氷」第 31 号を 10 月 11 日に発刊いたしました。「北海道の雪氷」の電子体は支部ホームページ上にて閲覧・ダウンロードできます。

◇URL：<http://www.seppyo.org/hokkaido/publications/journal/no31>

◇ダウンロード形態：一括ダウンロードまたは論文別ダウンロード

■冊子体（有料）をご希望の方は、支部ホームページの下記サイトから、あるいは下記担当理事にお申し込み願います。

◇URL：<http://glacier.ees.hokudai.ac.jp/journal/>

◇会計担当理事 内田 努（北海道大学 工学研究院 応用物理学部門）

Tel：011-706-6635 FAX：011-706-6635

丹治 和博（一般財団法人 日本気象協会 東北支局）

Tel：022-216-4181 FAX：022-216-4188

◇庶務担当理事 永田 泰浩（（社）北海道開発技術センター）

Tel：011-271-3022 FAX：011-271-5366

## 3. 防災フォーラム「平成 24 年岩見沢大雪」講演会のお知らせ

■平成 23-24 年冬期は岩見沢・新篠津を中心とした地域が記録的な豪雪に見舞われ、道路交通網の麻痺や鉄道の運休、雪による建物の倒壊など、地域経済や市民生活に大きな影響が出ました。同支部では、この大雪に対して調査チームを立ち上げ、2 月末～3 月初旬にかけ、空知を中心としつつ観測範囲を全道に広げた広域積雪調査を実施しました。この調査結果を一般市民に分かりやすく報告し、今後の大雪対策に貢献することを目的として、以下のとおり講演会を実施します。

◇日 時：平成 24 年 12 月 16 日（日）14 時～16 時

◇会 場：市民交流施設であえーる岩見沢 3 階であえーるホール

◇プログラム

第 1 部 講演 「2011-2012 冬期の大雪を振り返る」

講師：北海道教育大学 准教授 尾関 俊浩 氏

第 2 部 パネルディスカッション 「大雪とどうつき合うか」

コーディネーター

尾関 俊浩 氏（北海道教育大学）

## パネリスト

堤 拓哉 氏（北海道立総合研究機構北方建築総合研究所）  
井上 聡 氏（農研機構北海道農業研究センター）  
須田 カ 氏（北方圏体育スポーツ研究会）  
小西 信義 氏（北海道大学大学院文学研究科）

（詳細）

- テーマ1：あらためて除雪の問題を考える
- 報告：新しい気象庁の降雪情報 札幌管区気象台予報官 横田 歩 氏
- テーマ2：これから大雪とどうつき合うか

- ◆主催：公益社団法人日本雪氷学会北海道支部、自然災害研究協議会北海道地区部会
- ◆後援：岩見沢市
- ◆問い合わせ先：北海道教育大学 尾関俊浩  
TEL：011-781-0381 E-mail：[ozeki.toshihiro@s.hokkyodai.ac.jp](mailto:ozeki.toshihiro@s.hokkyodai.ac.jp)

## ◎事務局からのお願い

- ニュースレターの送付先を変更する場合は、新しい送付先を [snow-hokkaido-core@glacier.ees.hokudai.ac.jp](mailto:snow-hokkaido-core@glacier.ees.hokudai.ac.jp) までお知らせ下さい。また、ニュースレターや北海道支部の活動に関するご意見などございましたら、お寄せ下さい。

公益社団法人 日本雪氷学会 北海道支部（HPアドレス：<http://www.seppyo.org/hokkaido/>）

◇事務局：〒060-0819 札幌市北区北19条西8丁目 北海道大学低温科学研究所

Tel:011-706-7441 Fax:011-706-7142 E-mail：[snow-hokkaido-core@glacier.ees.hokudai.ac.jp](mailto:snow-hokkaido-core@glacier.ees.hokudai.ac.jp)

◇ニュースレター連絡先：〒006-8585 札幌市手稲区前田7条14丁目4-1

北海道工業大学 空間創造学部 建築学科 千葉 隆弘（ニュースレター担当理事）

Tel：011-688-2345（直通） Fax：011-688-2345